2024.4.15　『愛宕詣 2019』を再掲

地域シリーズ　：　いろいろな『愛宕詣』

来年の NHK 大河ドラマは「麒麟がくる」ですね。明智光秀ゆかりの地では様々なイベントが始まり，京都府と兵庫県，そして亀岡市・福知山市などの 7 市町が協力して大丹波観光推進委員会を組織し，「丹波　明智光秀／ゆかりの地マップ」などをつくって，光秀の足跡と魅力のキャンペーンを行っています。この中で京都市域では，光秀が本能寺へ向けて進軍した三つの道（明智越，唐櫃越，老の坂越）のほか，愛宕神社が紹介されていましたので，新年への祈願を兼ねて愛宕詣をレポートします。

《ご紹介》

時は今　天が下しる　五月哉

1582（天正 10）年 5 月，明智光秀が本能寺の織田信長を攻める前に，愛宕神社で連歌会（愛宕百韻）を催し詠んだ句であり，光秀の決意を秘めたものとされる。

この連歌会の開場となった愛宕神社へは，清滝口からの表参道のほか，水尾ルートや裏参道の樒原ルートなどがあり，今回は丹波側の樒原ルートで上ることにした。霧の中を JR 八木駅からバスで越畑に向かい，終点の原バス停近くには大きな鳥居が立っていて，裏参道の入口がすぐ分かる。急な坂道を上り，少し開けたところからは山間を埋める雲海が見え，すがすがしい気分になった。

標高 924mの愛宕山は比叡山より 76m 高く，京都市最高峰の霊山である。山頂途中には旧愛宕スキー場跡への案内標識があり，戦前にはホテルや愛宕山遊園地などとともに賑わっていたという。

愛宕神社は全国に約 900 社を数え，それらの本社が愛宕山上に鎮座する愛宕神社である。古くより火伏・防火に霊験のある神社として知られ，「火迺要慎（ひのようじん）」と書かれた同社の火伏札は，家庭の台所や店の厨房などいろんなところに貼られていて，京都府内はもとより近畿地方を中心に全国から参拝者が絶えない。

愛宕神社の HP によれば，同社は大宝年間（701～704）に創祀し，早くより神仏習合の山岳修業霊場として名高く，9 世紀頃には比

➢　樒原ルート

咲庵の樒　供えし本能寺

※咲庵（しょうあん）：光秀の雅号

➢　愛宕神社

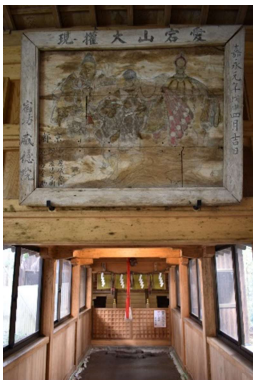
叡山・比良山等とともに七高山の一つに数えられたという。境内には，比較的新しい本殿，奥の院などがあり，札所の向いには暖をとれる休憩所が用意されていて，登山者をもてなしている。

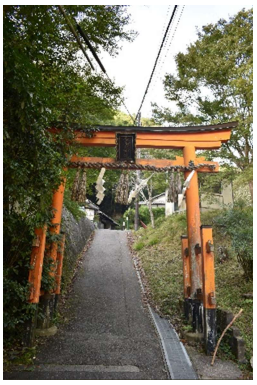
愛宕信仰は，愛宕山に集まった修験者によって江戸時代中頃から全国に広められ，中世後期以降，火伏せに霊験のある神として広く信仰されたという。民間では各地に「愛宕講」が組織されており，さまざまな愛宕ツアーが組まれたのだろう。特に，7 月 31 日夜から 8 月 1 日早朝にかけて参拝すると千日分の火伏・防火の御利益があるといわれる千日通夜祭（通称「千日詣」）には，毎年数万人の参拝者で境内参道は埋め尽くされる。

愛宕山を下ると，表参道の途中には明治初めに 19 軒あったという茶店の跡の石垣が残っており，また参道脇にはたくさんのお地蔵さんが身ぎれいに設えられている。表参道の出発点となる清滝口（愛宕神社二の鳥居）を上ったところには，参道横に苔の生えた石畳が階段状に並んでいる。かつて，ここから愛宕山に向かってケーブルカーが出発していた。愛宕山鉄道が 1929（昭和 4）年に開設した清滝川－愛宕間のケーブルカーであり，同社は清滝駅から嵐山駅までの鉄道（平坦線）も開設し，比叡山と同様に，市街地から愛宕山まで鉄道とケーブルカーを使って上ることができた。開業当時は，山麓部の清滝遊園地とともに賑わったようだが，戦時中に全線が不要不急線に指定され，レールを軍に供出したことから，1944（昭和 19）年に廃線となり，戦後も復活することはなかった。僅か 15 年の短命路線であった。

廃線跡は，道路として利用され，遺構として単線の清滝トンネルが残っている。昭和 10 年の都市計画基本図には JR 嵯峨野線をまたぐ鉄道の跨線橋が記されている。　　続く

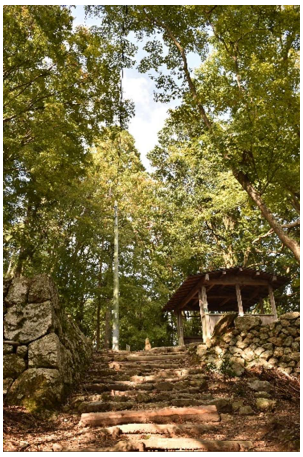
➢　愛宕神社　社殿／二の鳥居

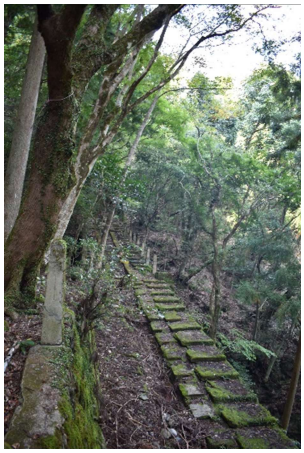




京町家　守る鍾馗と　火伏れ

➢　茶店跡・ケーブルカー跡





➢　一の鳥居のある嵯峨鳥居本　平野屋